

『建設物価 建築費指数[®]』

2024年8月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、同会ホームページにて毎月公表している『建設物価 建築費指数』について、2024年8月分の指数データを2024年9月10日13:00より公表いたします。

建築費指数は、建物を建築する際の工事価格の変動を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費の時点間や地域間での比較や、建築費の動向に関する時系列的な観察が可能です。

■2024年8月分の指数動向（工事原価指数 東京）■

▶集合住宅(RC造)の指数は、132.3(暫定値)と前月比で0.0%減、前年同月比6.7%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の設備細目[+0.11]の1細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：電線・ケーブル[-0.13]、上記以外の建築細目[-0.00]の2細目

▶事務所(S造)の指数は、133.7(暫定値)と前月比で0.0%減、前年同月比5.9%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の設備細目[+0.15]の1細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：電線・ケーブル[-0.17]、上記以外の建築細目[-0.00]の2細目

▶工場(S造)の指数は、133.2(暫定値)と前月比で0.1%減、前年同月比5.7%増となった。

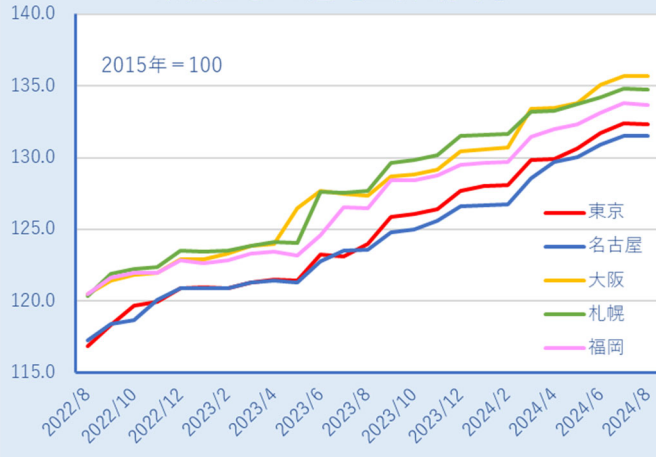
【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の設備細目[+0.16]の1細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：電線・ケーブル[-0.25]、上記以外の建築細目[-0.00]の2細目

▶住宅(W造)の指数は、138.5(暫定値)と前月比で0.0%増、前年同月比5.1%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の設備細目[+0.05]の1細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：電線・ケーブル[-0.05]、上記以外の建築細目[-0.00]の2細目

■工事原価指数グラフ■

集合住宅RC造【主要5都市】



※2024年7・8月の指数は「暫定値(P値)」です。

■工事原価指数値■

集合住宅RC造【主要5都市】

※2015年=100

年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡
2023年8月	124.0	123.6	127.3	127.7	126.5
9月	125.9	124.8	128.7	129.6	128.4
10月	126.1	125.0	128.8	129.8	128.4
11月	126.4	125.6	129.2	130.2	128.7
12月	127.7	126.6	130.5	131.5	129.5
2024年1月	128.0	126.7	130.6	131.6	129.6
2月	128.1	126.7	130.7	131.7	129.7
3月	129.9	128.6	133.4	133.2	131.4
4月	129.9	129.7	133.5	133.3	132.0
5月	130.7	130.0	133.8	133.7	132.3
6月	131.7	130.9	135.1	134.2	133.2
7月	P132.4	P131.5	P135.7	P134.8	P133.8
8月	P132.3	P131.5	P135.7	P134.8	P133.7

■指数変動に寄与した主な細目■ 詳細な市況は <https://www.kensetu-bukka.or.jp/> をご覧ください。

プラス寄与

原材料費や人件費を含む製造コストの増加分を転嫁するため、メーカーが打ち出した値上げが浸透し、配線器具の価格が上伸したことが、指数動向のプラスに寄与した。

マイナス寄与

銅相場の急落に伴う需要家からの強い値下げ要求により、電線・ケーブル価格が下落したことや、原油相場下落や円高進行を背景に、元売り各社が燃料油の仕切り価格を下げたことによる輸送コストの低減が、指数動向のマイナスに寄与した。



【本件に関するお問合せ先】

※「建設物価 建築費指数」は建設物価調査会の登録商標です。

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 担当：伊沢 Tel：03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_kentiku/